

政策	22 生活環境の充実					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民全般					
施策が目指す姿	種別に応じた適切な適切な規模・機能を有する公園緑地の整備や地域の主体的な取り組み等による既存公園の維持・管理を進める。 墓地需要に対応した新たな墓園の整備や既存墓園の維持・管理、斎場の再整備を図る。 定住を促す市営住宅の適正な維持・保全や利便性を高める生活道路の整備を図る。					
成果指標	居住環境の整備に対する市民満足度・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で65%(現状値55.5%) 斎場墓地に対する満足・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で50%(現状値-) 道路の整備・保全に対する市民満足度・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で60%(現状値50.2%)					
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定				65.00
		実績				
	成果指標2 [%]	予定				50.00
		実績				
	成果指標3 [%]	予定				60.00
		実績				
	成果指標4 [%]	予定				
実績						
トータルコスト (千円)	予定	2,321,662	2,352,551	0	0	0
	実績	2,191,552	2,250,795	0	0	0
内部評価	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくり」を進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。				
	達成状況	市民満足度を図る調査は、平成28年度に実施予定であるが、下位単位施策である施設等の整備・維持・管理状況については一部未達もあるが、概ね目標通り進捗している。				
	課題	老朽化した公園や生活道路において、整備が十分でない箇所が見受けられる。又、事業計画策定等で関係課・関係機関等との調整が遅れている事業も見受けられる。				
	取組方針	各施設等の情報収集の強化に努め、計画的な整備・補修・管理を実施していく。又、調整の遅れている事業については、関係機関等と早急に調整を進め事業の進捗を図る。				
外部評価	本施策の達成状況について、内部評価において概ね目標通り推移しているとしているが、課題にもあるように「老朽化した公園や生活道路において、整備が十分でない箇所が見受けられる」ことや、主要事業である「斎場再整備事業費」の遅れなど、市民生活に直結する事業が未達となっていることから、目標に達していないと想定される。 今後は遅れている事業のスケジュール管理や、施設の整備計画に沿った事業展開が必要である。 また合併により、広大な面積になった現在の栃木市が保有する道路や公園等のインフラ資産について、管理(美化活動)を地域住民などのボランティアにお願いし、行政はそれらの活動に対し一定の支援を行うアダプト制度の推進が必要である。					
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度
	2202	衛生環境の充実			476,710	100
	2203	住環境の維持・向上			935,978	97
	2201	公園緑地の維持・整備			801,397	96